国際アスリート コース　　2025年度シラバス（社会科）　　開志国際高等学校

科目	公共	学年	第1学年	開講	通年	必修	2 単位

教科書：第一学習社「高等学校　公共」
副教材：第一学習社「学習事項の整理と問題　公共ノート」

1　学習の到達目標

現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。
公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

2　学習計画及び評価方法

a　知識技能
b　思考・判断・表現
c　主体的に学習に取り組む態度

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考査	評価の観点 a	b	c
前期	第1編	公共的な空間をつくる私たち	社会に生きる私たち	・「個人・私」が社会の構成員の一人であることを理解し、個人が選択・判断するための手がかりを考察する。 ・「結果」と「義務」の考え方について比較し、それぞれの考え方の特徴を理解する。 ・公共的な空間における基本的原理について学ぶ。 ・個人の尊重について、国際社会での取り組みの実態を学ぶ。	4		○		
			個人の尊厳と自主・自律				○	○	
			多様性と共通性				○	○	
			キャリア形成と自己実現				○	○	
			伝統や文化とのかかわり		5	中間	○	○	
		公共的な空間における人間としてのあり方生き方	人間と社会のあり方についての見方・考え方				○	○	
			実社会の事例から考える～環境保護				○	○	
			実社会の事例から考える～生命倫理				○	○	
			公共的な空間を形成するための考え方				○	○	
			よりよく生きる行為者として活動するために				○	○	
		公共的な空間における基本的原理	人間の尊厳と平等				○		
			個人の尊重		6		○		
			民主政治の基本的原理				○	○	
			法の支配				○	○	
			自由・権利と責任・義務				○	○	
		よりよい公共的な空間づくりをめざして	世界のおもな政治体制				○		
			日本国憲法に生きる基本的原理				○		
	第2編	法的な主体となる私たち	私たちと生活の法	・法やルールの意義について理解する。 ・契約を結んだり、消費活動をおこなう際に注意すべき点について理解し、実際の事例を基に対策を考える。 ・公正な裁判のために必要なものを理解し、果たすべき責任について考えを深める。			○		
			法と基本的人権				○		
			自由・平等と法・規範				○	○	
			法をよりよく変えていくために		7		○	○	
			さまざまな契約と法				○		
			消費者の権利と責任				○	○	
			裁判所と人権保障			期末	○	○	
	前期　授業評価						○	○	○
後期	第2編	政治的な主体となる私たち	選挙の意義と課題	・民主政治を推進するために果たすべき責任について理解を深める。 ・民意や公正の観点から国民の幸福について考察する。 ・国際社会と国内社会を比較し、領土問題や民族問題、地域紛争について考察する。 ・国際社会における日本の役割を理解する。	9		○		
			政治参加と世論形成				○		
			国会と立法				○		
			内閣と行政の民主化				○		
			地方自治と住民の福祉				○	○	
			国家と国際法				○	○	
			国境と領土問題				○	○	
			国際連合の役割と課題				○		
			平和主義と安全保障				○		
			核兵器の廃絶と国際平和				○	○	
			今日の国際社会		10		○	○	
			人種・民族問題と地域紛争				○	○	
			国際社会における日本の役割				○	○	
		経済的な主体となる私たち	私たちと経済	・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などの観点から理解を深める。 ・雇用と労働における基礎的な知識を学び、経済活動の在り方について考察する。 ・貧困や格差の問題について、個人の尊重や自由・権利と責任・義務などの公共的な空間の基本的原理を踏まえ考察する。			○		
			労働者の権利と労働問題				○	○	
			技術革新の進展と産業構造の変化				○	○	
			企業の活動				○		
			農林水産業の現状とこれから			中間	○	○	
			市場経済と経済運営				○		
			市場経済のしくみ				○		
			経済発展と環境保全				○	○	
			経済成長と国民福祉				○	○	
			金融の意義や役割				○		
			政府の経済的役割と租税の意義		11		○		
			社会保障と国民福祉				○	○	
			国際分業と国際貿易体制				○		
			国際収支と為替相場				○		
			経済のグローバル化と日本				○	○	
			地域的経済統合の動き				○		
			国際社会における貧困や格差				○	○	
			地球環境問題				○	○	
			資源・エネルギー問題				○	○	
			国際社会のこれから				○	○	
	第3編	地球環境問題		・環境問題やエネルギー問題、生命倫理など、現代社会におけるさまざまな課題について理解を深める。 ・ともに生きる社会を築くという観点から課題を見出し、社会的な見方や考え方を総合的にはたらかせ探究活動ができる。	12		○	○	
		資源・エネルギー問題					○	○	
		生命倫理					○	○	
		情報					○	○	
		国際社会の課題				期末	○	○	
	後期　授業評価						○	○	○

3　評価の観点

各観点100点満点で算出する。
○知識・技能　　：考査素点 70%＋課題等 30%
○思考・判断・表現　　：考査素点 60%＋課題等 40%
○主体的に学習に取り組む態度：平素の授業態度、提出物、発表等…100%